



社会 宗像 大像 毎月十五日発行 毎月発行 宗像 大像 毎月発行 宗像 大像 毎月発行

神具・装束 結納式用品 福岡店 福岡市博多区東公園二一三二一(二番) 電話 福岡(三三)六六一一 九四一五

沖津宮現地大祭齋行

紺碧の海に聳える海の正倉院



日本海々戦記念日の五月二十七日(日)、玄界灘にボツンと浮かぶ絶海の孤島沖ノ島にて、沖津宮現地大祭が盛大に斎行された。

一般の人々は普段参拝することが認められない神聖な島である。しかし毎年この沖津宮現地大祭だけは一般の方にも参拝を認めてくれた。

沖ノ島は現在でも女人禁制、上陸の際には海中にて裸をすること等古来からの掟を厳格に守られており、祭の準備は受け継いでおり、

一般の人々は普段参拝することが認められない神聖な島である。しかし毎年この沖津宮現地大祭だけは一般の方にも参拝を認めてくれた。

沖ノ島は現在でも女人禁制、上陸の際には海中にて裸をすること等古来からの掟を厳格に守られており、祭の準備は受け継いでおり、

沖ノ島は現在でも女人禁制、上陸の際には海中にて裸をすること等古来からの掟を厳格に守られており、祭の準備は受け継いでおり、

沖ノ島は現在でも女人禁制、上陸の際には海中にて裸をすること等古来からの掟を厳格に守られており、祭の準備は受け継いでおり、

高等教育への進学年齢である十八歳人口は、平成五年度以降急激な減少期に入り、平成十一年度には、ピーク時(平成四年度)の二〇五万に比べて約五十四万人減の約一五二万人となることと予測され、さらにその後も減少し続けることが明らかとなっている。

平成二年度における、大学、短大の入学者及び高専の四年次入学者は合わせて約七十四万人であるが、平成十一年度のそれは、社会人学生、外国人留学生を含めて、約六十五万人になると予想されている。

日本経済の成長、高齢化の増加、進学希望の増大にもともなって、拡張を続けてきた日本の大学も、よほど淘汰を覚悟しなければならぬ冬の時代に突入している。しかし、折角設立し経営してきた大学をおおと死なせるわけにはいかない。そこで、各大学間で、生き抜くための鏖戦が開始されている。

「国慶」は人気があるらしく、この名称を付けた大学のなんと多いことよ。名称の変更は大学名ばかりではない。学部名の変更は枚挙にいとまがないほどである。農学部や家政学部は敬遠され、ここでも国際や情報の名を付した学部は愛されている。

「学生を顧客と考えることが一概に悪いとはばかりは言えない。日本の大学は、

「学生を顧客と考えることが一概に悪いとはばかりは言えない。日本の大学は、

「学生を顧客と考えることが一概に悪いとはばかりは言えない。日本の大学は、

「学生を顧客と考えることが一概に悪いとはばかりは言えない。日本の大学は、

「学生を顧客と考えることが一概に悪いとはばかりは言えない。日本の大学は、

「学生を顧客と考えることが一概に悪いとはばかりは言えない。日本の大学は、

「学生を顧客と考えることが一概に悪いとはばかりは言えない。日本の大学は、

「学生を顧客と考えることが一概に悪いとはばかりは言えない。日本の大学は、

「学生を顧客と考えることが一概に悪いとはばかりは言えない。日本の大学は、

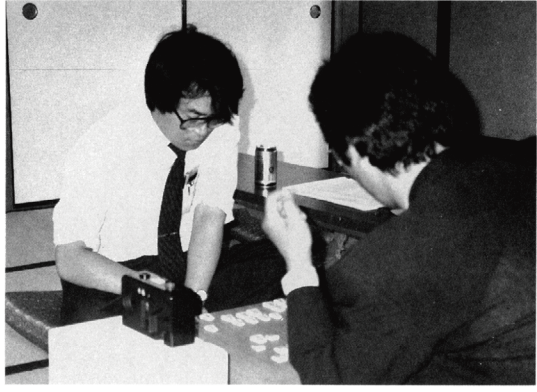
「学生を顧客と考えることが一概に悪いとはばかりは言えない。日本の大学は、

宗像大社歌会詠草 第三七二回 中村 吾郎 選 毎月末日、切 原町八波 五月 細麦の茎をぬらして降る雨の今日、幾日か春走風

大島 尾形トミエ 雲切れつ明るも海風立て ば潮に促し見は浮く (評) 正しく見、適格に表現されている。静かな詠みぶりが心に沁る。 八幡山 山田 耕夕 あのあたりに昔屋の浜が遠花火ボートレースの開始つた (評) 表現に省略の効きすぎの感じが伺えないが、芦屋の浜は霞んでいるようだ。 日里 後藤 君代 肥後藩は若竹割りに盛れるなり花の色遠く藤の天賦羅 (評) 下句の花の色遠く藤の天賦羅、何となくも愉しい。此の様に具象をもって思いを表わるのが作歌の姿。 田熊 蟹頭かつ代 若竹は日まに伸びて息づけるその表情をなごらに見す 福岡東 桜井 ツ子 月の面がすめ寒々と流れゆく千切れ雲は星星なき空に 武丸 中村つきと 大方は葉桜となり木々の下昨夜の疾風を夢見し 吉留 高山 信子 うまく研げぬ鎌に草刈る吾をみてとどきたり隣 吉留 白木うめ 薬草園とわれの名けし裏庭の草々が濃淡分けて伸びをり 大島 目原 節子 山藤の香りはかに漂ひて朝の御社深き静る 福岡東 清原 絹代 おそ咲きのつじを見つり弁当にはしやホトムの人 八幡東 大塚ミヤ子 高栗川中洲の畑、小舟にて老爺と大が乗りてこぎゆく

第十五回 宗像王位戦

十五代王位に木下敏彦四段(沖繩県)



西日本アマチュア将棋界の最高位である「宗像王位」の座を奪う、第十五回宗像王位戦。主催は宗像大社。西日本新聞社、主管は日本将棋連盟福岡支部、後援は日本将棋連盟・宗像市町村。長谷川・テレビ西日本が、日本将棋連盟より青野昭市八段を審判長として迎え、五月二十四日(日)午前八時より当日大社拝堂に於て開催された。

出場選手は九州・沖縄・山口九段。福岡県は福岡・北九州・筑豊・筑後・筑前・九州と改称された六名の名簿から予選を勝ち抜いた代表者二名とつと、前年度の計二十五名で、最年少の平田四段(市宇年・十三才)を始め高校・大学

生から社会人と多士濟々な顔ぶれとなった。また、二十三名の内十三名が初出場(代表三名の変わった選手もいて、かつての王位や準王位、数回出場の内勝率に挑戦)。対局はA・B・Cの三つに分かれ、持ち時間二十五分、以後読み切りナメント方式で行われ、新進気鋭とベテラン勢とが激突、宗像王位への栄冠を目指して、白熱の対局が繰り広げられた。

決勝戦は、沖繩県代表の木下敏彦四段(30)と福岡県代表の佐賀県二の平田四段(30)とが対戦した。対局は激戦となり、白熱の対局が繰り広げられた。

決勝戦は、沖繩県代表の木下敏彦四段(30)と福岡県代表の佐賀県二の平田四段(30)とが対戦した。対局は激戦となり、白熱の対局が繰り広げられた。

宗像大社氏子会総代総会

新会長に出光太蔵氏

去る五月二十五日(月)、宗像大社氏子会総代総会が開催され、出光太蔵会長外、新役員が選出・承認された。総会には、古賀文男副会長の開会の辞に始まり、河野幸人会長、兼文官司の挨拶と続き、議事に入った。

議事は、先ず事務局より、平成三年度氏子決算報告、並事業報告がなされ、次いで平成四年予算案並事業計画案を提案、慎重に審議され、両議案とも全会一致で承認された。

議事は、先ず事務局より、平成三年度氏子決算報告、並事業報告がなされ、次いで平成四年予算案並事業計画案を提案、慎重に審議され、両議案とも全会一致で承認された。

議事は、先ず事務局より、平成三年度氏子決算報告、並事業報告がなされ、次いで平成四年予算案並事業計画案を提案、慎重に審議され、両議案とも全会一致で承認された。

議事は、先ず事務局より、平成三年度氏子決算報告、並事業報告がなされ、次いで平成四年予算案並事業計画案を提案、慎重に審議され、両議案とも全会一致で承認された。

議事は、先ず事務局より、平成三年度氏子決算報告、並事業報告がなされ、次いで平成四年予算案並事業計画案を提案、慎重に審議され、両議案とも全会一致で承認された。



宗像大社氏子会 会長就任にあたり

議事は、先ず事務局より、平成三年度氏子決算報告、並事業報告がなされ、次いで平成四年予算案並事業計画案を提案、慎重に審議され、両議案とも全会一致で承認された。

夏越祭・大祓神事御案内

暑さも日に増してまいりました。さて、恒例の夏越祭が中心に行われ身身の罪・穢を人形に託して祓除き、清々しい気持ちをもって明日の生活へ安んずるための祈りをこめたお祭りでもあります。

宗像大社氏子会総代総会が開催され、出光太蔵会長外、新役員が選出・承認された。総会には、古賀文男副会長の開会の辞に始まり、河野幸人会長、兼文官司の挨拶と続き、議事に入った。

一話 (17) 古代航路の延長

樂 杏 子

古代日本の国際交流に登場した伝説は、海北道と呼ばれ、北部九州と朝鮮半島とを直線に結ぶ海上の道である。この航路の延長路線が確立された。この辺りには古代に於ける中国と朝鮮、日本と朝鮮の外交コースの様式であった。

古代日本の国際交流に登場した伝説は、海北道と呼ばれ、北部九州と朝鮮半島とを直線に結ぶ海上の道である。この航路の延長路線が確立された。この辺りには古代に於ける中国と朝鮮、日本と朝鮮の外交コースの様式であった。

古代日本の国際交流に登場した伝説は、海北道と呼ばれ、北部九州と朝鮮半島とを直線に結ぶ海上の道である。この航路の延長路線が確立された。この辺りには古代に於ける中国と朝鮮、日本と朝鮮の外交コースの様式であった。

植樹祭 齋行

「好きです。この緑をテーマに、第四十三回全国植樹祭が、五月十日(日)、天皇・皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、朝倉郡後須賀の夜須高原に於て、盛大に執り行われた。

「好きです。この緑をテーマに、第四十三回全国植樹祭が、五月十日(日)、天皇・皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、朝倉郡後須賀の夜須高原に於て、盛大に執り行われた。

「好きです。この緑をテーマに、第四十三回全国植樹祭が、五月十日(日)、天皇・皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、朝倉郡後須賀の夜須高原に於て、盛大に執り行われた。

「好きです。この緑をテーマに、第四十三回全国植樹祭が、五月十日(日)、天皇・皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、朝倉郡後須賀の夜須高原に於て、盛大に執り行われた。

式内社顕彰会九州支部 第六回 福岡県巡拝の旅



北部九州の梅雨入り宣言が出されたばかりの六月八日から十日に亘り、二泊三日の日程で、平成四年度式内社顕彰会九州支部主催による、福岡県内式内社、著名神社、仏閣巡拝の旅が行われ、顕彰と会員相互の親睦が図られた。

福岡地方は、古来より「つくしの国」と称され、大陸文化の導入口にあたり、世界に向けた我が国の表玄関として、発展してきた土地であり、その歴史を物語る「沖ノ島祭祀遺跡」「鴻巣遺跡」「太宰府府跡」等数多くの文化遺跡が存在している。そして式内社も筑前国に十一社、筑後国にも四社を数え、古代律令国家との関係が如何に深かったかが窺われる。

八日午前十一時、参加者二十三名が当社に集合、県内を始め東京、島根、鹿兒島、宮崎、長崎等遠方からも参加した多彩な顔ぶれとなった。

正午、当社正式参拝、参拝後沖ノ島祭祀神宝を展示する神宝館にて、当社兼合司が北部九州の地域的役割と大陸文化導入の関係、併せて今回の巡拝の旅の目的を説明した。

午後一時、一行はバスにて当社を出発、志賀島鎮座の志賀神社へと向い、同社を参拝。続いて交界、博多湾を左右に眺めながら「海の中道」を宗像に向けて戻り宮地獄神社で正式参拝、更に白砂青松の美しさを堪能した。

府天満宮へと向う。午後三時過ぎ大宰府天満宮正式参拝、更に今春開館した宝物殿を拝観、最新のハイテク技術を取り入れた諸設備に一同感心、おおいに参考となった。その後、同宮の葛葉園を見学、そして日本最古の梵鐘で知られる観世音寺「遠の朝廷」の政庁跡、都府跡を見学し、二日目の宿泊地原温泉へと向った。宿は温泉、すぐそばを筑後川が流れ、名物の鵜飼いを眺めながらの会食は、旅の疲れをいやすには絶好の情緒豊かな一刻であった。

最後の二日目は、前日同様好天。午前九時三十分筑後国ノ宮の高良大社を正式参拝。筑後平野の中央に聳える標高四〇〇メートルの高良山からの眺望は、緑溢れる平野の中に筑後川が悠々と流れ、正に値千金であった。更に同社歴史資料館で古賀先生の説明は一行を魅了、時を忘れてしまった。参拝後、多摩川の帰途時間をお配りする程であった。

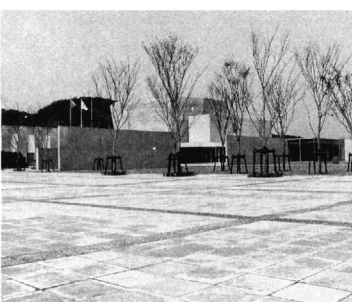
午前十一時、高良大社を後にし帰路の途につく。車中、兼合司が参加者全員に今回の巡拝の旅参加への御礼を述べると、参加者から「支部長以下担当者への篤い、また巡拝地を始め車中での兼合司部長、別府大寺伊藤信人教授の説明は、動く歴史教室であり素晴らしい」との感想が相次いだ。

アクシス玄海オープン

玄海町観光物産館・文化施設「アクシス」が五月二十六日、オープンしました。

アクシスとは「軸」とか「中核」という意味です。本町の観光や文化の拠点となる施設であり、また、ここを「中核」として、いろいろなイベントなどが行われ、町民の皆さんに楽しんでいただける場であり、ふれあいの場となつてほしいとの期待を込め、名付けられたものです。

建設に当たっては、その場所が由緒ある宗像大社の隣にということもあり、また、この本町をはじめとする宗像地域の古くから「神都むなむな」と呼ばれていた事なども十分に考慮されてい



式参拝。筑後平野の中央に聳える標高四〇〇メートルの高良山からの眺望は、緑溢れる平野の中に筑後川が悠々と流れ、正に値千金であった。更に同社歴史資料館で古賀先生の説明は一行を魅了、時を忘れてしまった。参拝後、多摩川の帰途時間をお配りする程であった。

午後十一時、高良大社を後にし帰路の途につく。車中、兼合司が参加者全員に今回の巡拝の旅参加への御礼を述べると、参加者から「支部長以下担当者への篤い、また巡拝地を始め車中での兼合司部長、別府大寺伊藤信人教授の説明は、動く歴史教室であり素晴らしい」との感想が相次いだ。

お知らせ

◆お知らせ◆

海の正倉院

宗像 沖ノ島神社 刊行!!

これは沖ノ島の概説書です。多くの写真で沖ノ島の出土品を多量に紹介し、入門書の役割も大いに果たして欲しいと思われす。海の正倉院、沖ノ島、と言えばよく知られた名前で、古代祭祀にわゆる自然を対象とした原始信仰の代名詞でもあります。宗像大社神楽階は、日本のまつりを代表する展示コーナーです。

沖ノ島祭祀神宝の展示コーナーです。神宝館に見学に来られた多くの人々から、久しく沖ノ島に関するガイドブックを要望されてきました。ここに発行したものでよろしくご愛読下さい。

定価 一〇〇〇円

社務日誌抄

- 五月一日 月次祭
- 五月四日 三宮建設機工機
- 五月十一日 皇月・浜宮祭
- 五月十二日 宗像大社・式内社
- 五月十三日 志賀神社・式内社
- 五月十四日 宮地獄神社・式内社
- 五月十五日 高良大社・式内社
- 五月十六日 大宰府天満宮
- 五月十七日 宗像大社・式内社
- 五月十八日 宗像大社・式内社
- 五月十九日 宗像大社・式内社
- 五月二十日 宗像大社・式内社
- 五月二十一日 宗像大社・式内社
- 五月二十二日 宗像大社・式内社
- 五月二十三日 宗像大社・式内社
- 五月二十四日 宗像大社・式内社
- 五月二十五日 宗像大社・式内社
- 五月二十六日 宗像大社・式内社
- 五月二十七日 宗像大社・式内社
- 五月二十八日 宗像大社・式内社
- 五月二十九日 宗像大社・式内社
- 五月三十日 宗像大社・式内社

敬子氏参拝
五月二十日 静岡県神社庁
副部長鈴木泰司氏外三
十四名参拝
福岡トヨタ自動車(株)新
車販売部取締役部長上
田康雄氏来社
五月二十一日 第一回トヨ
タヤンクドライブパス
クニックin福岡開催
五月二十二日 東京国税局
調査第一課調査官中村
敏明氏・出光興産(株)福
岡支店経理課長島崎健
一氏来社
千葉県印旛村文化財審
議委員六名来社
五月二十三日 第十五回宗
像大社・式内社
金子宗氏(きじ馬)奉
納奉旨参拝
五月二十四日 宗像大社
氏貞公参拝
第十五回宗像大社・式内
祭
五月二十五日 宗像大社
子会総代会
五月二十六日 宗像大社
会協力会一行十八名参
拝沖津宮渡船安祈願
祭参拝
沖津宮現地大祭参拝
五月二十七日 沖津宮現地
大祭
五月二十八日 出光興産(株)
事務系新入社員十一名
参拝入社奉生参拝
庄内中学校社会見学
一五〇名来社
五月三十日 玄海町商工青
年部長中井隆泰氏外一
名来社
五月三十一日 宗像ロータ
リー参拝
津宮参拝
五月三十一日 宗像ロータ
リー参拝
東京光連会前田恒信氏
外一名参拝
久保雄雄前委員長十
年祭

宗

平成の齋田を訪ねて

主基地方風俗舞保存会

主基地方風俗舞保存会(会長岩佐昭正)一行十名は、去る五月十六・十七日の二日間、大分方面の研修視察を行った。

今回の研修目的は、平成の御大典、大嘗祭主基齋田跡を見学することにあつた。大分路に入ったとすぐに、入ったのが、昨年の大型台風により甚大な被害を受けた森林で、その状態は驚きにまぎらぬ哀れな姿を露呈し、皆だただただ唖然と見入るのみであった。

玖珠郡玖珠町に着くと国道から町道に入り、先ず齋田の氏神様神社に参拝、穴井宮司様より案内いただいた。当時の重儀の説明をア



瀧神社に建立された大嘗祭記念碑

バムに目を通しながら一同熱心に聞き入り、その御芳

業穴井進氏所有の水田で、段々畑の一角にあり、面積は一畝合せて十一アール。背後に山、すぐ横を清流玖珠川が流れる、まさしく山紫水明の地にあつた。現在齋田の一角には、御影石にて大嘗祭主基齋田跡の石碑

たが推察できる。

八日午前十一時、参加者二十三名が当社に集合、県内を始め東京、島根、鹿兒島、宮崎、長崎等遠方からも参加した多彩な顔ぶれとなった。

正午、当社正式参拝、参拝後沖ノ島祭祀神宝を展示する神宝館にて、当社兼合司が北部九州の地域的役割と大陸文化導入の関係、併せて今回の巡拝の旅の目的を説明した。

午後一時、一行はバスにて当社を出発、志賀島鎮座の志賀神社へと向い、同社を参拝。続いて交界、博多湾を左右に眺めながら「海の中道」を宗像に向けて戻り宮地獄神社で正式参拝、更に白砂青松の美しさを堪能した。

宗

宗

苦に深い感銘を受けた。次に瀧神社より四、五百米入った「はね山」の麓にある齋田跡に向つた。齋田跡は、玖珠町東山田の農

が建てられて大事に保存されている。一同は当時の模様を偲び、関係者の方々の大変なご努力と御心労に改めて敬意を表した。

翌十七日は、湯布院民芸村、中津江村の鯛生金山、八女の岩古山古墳等を見学し、平成三年度の研修視察を終えた。

